

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	川崎市宮前スポーツセンター	評価対象年度	令和7年度
事業者名	・事業者名 フクシ・ハリマ・スボ協共同事業体 ・代表者名 福土 昌 ・住所 東京都江東区大島一丁目9番8号	評価者	宮前区役所地域振興課長
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日	所管課	宮前区役所地域振興課

2. 事業実績

利用実績	<table><tr><th>年度</th><th>4月</th><th>5月</th><th>6月</th><th>7月</th><th>8月</th><th>9月</th><th>10月</th><th>11月</th><th>12月</th><th>1月</th><th>2月</th><th>3月</th><th>合計(人)</th></tr><tr><td>7年度</td><td>18,319</td><td>25,097</td><td>21,188</td><td>23,754</td><td>20,903</td><td>23,498</td><td>22,240</td><td>19,467</td><td>15,695</td><td>19,131</td><td>18,563</td><td>22,168</td><td>250,023</td></tr><tr><td>6年度</td><td>17,626</td><td>17,600</td><td>21,903</td><td>20,198</td><td>21,496</td><td>21,361</td><td>25,624</td><td>25,631</td><td>20,603</td><td>18,028</td><td>18,013</td><td>22,766</td><td>250,849</td></tr><tr><td>5年度</td><td>17,916</td><td>19,279</td><td>19,139</td><td>20,370</td><td>17,696</td><td>22,402</td><td>23,726</td><td>21,750</td><td>17,904</td><td>17,827</td><td>18,260</td><td>20,400</td><td>236,669</td></tr><tr><td>4年度</td><td>17,785</td><td>19,329</td><td>19,313</td><td>6,643</td><td>6,761</td><td>6,832</td><td>6,922</td><td>6,538</td><td>6,041</td><td>15,467</td><td>16,856</td><td>18,777</td><td>147,264</td></tr><tr><td>3年度</td><td>16,492</td><td>14,743</td><td>13,371</td><td>16,018</td><td>13,699</td><td>13,805</td><td>21,462</td><td>21,756</td><td>13,096</td><td>14,534</td><td>12,750</td><td>14,448</td><td>186,174</td></tr></table>														年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(人)	7年度	18,319	25,097	21,188	23,754	20,903	23,498	22,240	19,467	15,695	19,131	18,563	22,168	250,023	6年度	17,626	17,600	21,903	20,198	21,496	21,361	25,624	25,631	20,603	18,028	18,013	22,766	250,849	5年度	17,916	19,279	19,139	20,370	17,696	22,402	23,726	21,750	17,904	17,827	18,260	20,400	236,669	4年度	17,785	19,329	19,313	6,643	6,761	6,832	6,922	6,538	6,041	15,467	16,856	18,777	147,264	3年度	16,492	14,743	13,371	16,018	13,699	13,805	21,462	21,756	13,096	14,534	12,750	14,448	186,174
	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(人)																																																																																				
	7年度	18,319	25,097	21,188	23,754	20,903	23,498	22,240	19,467	15,695	19,131	18,563	22,168	250,023																																																																																				
	6年度	17,626	17,600	21,903	20,198	21,496	21,361	25,624	25,631	20,603	18,028	18,013	22,766	250,849																																																																																				
	5年度	17,916	19,279	19,139	20,370	17,696	22,402	23,726	21,750	17,904	17,827	18,260	20,400	236,669																																																																																				
	4年度	17,785	19,329	19,313	6,643	6,761	6,832	6,922	6,538	6,041	15,467	16,856	18,777	147,264																																																																																				
	3年度	16,492	14,743	13,371	16,018	13,699	13,805	21,462	21,756	13,096	14,534	12,750	14,448	186,174																																																																																				
収支実績	【指定管理業務】		(単位:千円)												【自主事業】		(単位:千円)																																																																																	
	収入	指定管理料	34,344												収入	286																																																																																		
		利用料金収入	26,702												支出	293																																																																																		
		事業収入他	47,953												収支差額	-7																																																																																		
		補填金・補償金等	1,653																																																																																															
		収入合計	110,652																																																																																															
	支出	人件費関係	47,164																																																																																															
		管理運営経費	17,822																																																																																															
		事業関係経費	37,685																																																																																															
		本社経費	1,926																																																																																															
その他経費		5,433																																																																																																
	支出合計	110,030																																																																																																
	収支差額	622																																																																																																
サービス向上の取組	①坂の上に立地する地理的条件を考慮し、スポーツセンターへ通いやすいよう60歳以上の方が対象の教室受講生に向けて送迎サービスを行い、利便性の向上を図った。 ②毎週金曜日にパラスポーツデーとして、パラリンピックの種目でもあるボッチャを実施するほか、パラスポーツ体験会やパラ体操を実施するなど、パラスポーツの普及啓発に取り組んだ。 ③近隣の犬蔵中学校の授業の一環としてボッチャ体験会を開催した。 ④ワンコインで様々なスポーツが楽しめる宮前スポーツパークを開催した ⑤ボルダリングの普及・啓発にあたり、施設内のボルダリング施設の利用増に向け、チラシ等を行政施設に配架し、利用者増に向けた取組を行った。																																																																																																	

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
利用者満足度	利用者満足度	利用者満足度調査を適切に実施しているか	6	3 (×0.6)	3.6
		利用者満足度は向上しているか			
		調査結果の分析を行い、満足度向上のための具体的な取組に反映しているか			
	事業成果	事業実施による成果の測定が適切に行われているか	6	3 (×0.6)	3.6
		当初の事業目的を達成することができたか			
	【評価の理由】 【利用者満足度】 ①スポーツ教室のアンケートによる能動的方法、ホームページ、フェイスブック、ご意見箱等による受動的方法により利用者満足度の測定を行い、収集した意見には、必要に応じて所管課と連携を図り、即時対応を徹底した。施設の運営やスタッフの対応についての市への苦情・クレームの件数は5件あったが、速やかに改善・対応し、トラブルが長期化することはなかった。教室アンケートの結果では、講師の質について「大変良い」、「良い」が合わせて96%と利用者の満足度は高いと言える。また、対応の可否について検討し、対応可能なものについては迅速に対応するよう努めている。				
【事業成果】 ①令和7年7月まで屋根の改修工事を行っており、駐車場の一部利用が制限された(第1駐車場が平日利用不可・土日祝は5台程度利用可)影響もあり、新型コロナウイルス感染症拡大前の利用者総数には届いていない。しかしながら、空き時間の諸室利用に向け、利用者アンケート等の意見や館内部での様々なアイデア(球技系の種目を中心にどなたでも参加できる「フリー開放」、フットサルの個人利用「個サル」、短時間の諸室の団体貸など、)を活用し、参加者増に向けた積極的な取組が行われた。このような取組により、目標値をほぼ達成している。 ＜実績＞スポーツデー目標値22,000人→実績20,987人(対目標値95.4%)、トレーニング室目標値63,000人→実績62,786人(対目標値99.7%)、スポーツ教室目標値33,700人→実績32,800人(対目標値97.3%)、総利用者数目標値262,500人→実績250,023人(対目標値95.2%)					

収支計画・実績	効率的・効果的な支出	計画に基づく適正な支出が行われているか	6	3 (×0.6)	3.6	
		支出に見合う効果は得られているか				
		効率的な執行等、経費削減の具体的な取組は為されたか				
	収入の確保	計画通りの収入が得られているか	6	3 (×0.6)	3.6	
		収入増加のための具体的な取組が為されているか				
	適切な金銭管理・会計手続	収入と預かり金等を区別し、適切に管理を行っているか	4	3 (×0.6)	2.4	
		事業収支に関して適正な会計処理が為されているか				
	【評価の理由】 【効率的・効果的な支出】 ①光熱水費の削減に向け、大体育室では15分以上空きがある場合消灯するなどコスト削減に努めるほか、館内の一部スペースをLEDに変更し、電気料金の削減に努めた。 【収入の確保】 ①施設稼働率については目標値を上回る結果となり、利用料金収入についても、各種工事により駐車場や諸室の利用が制限される中、目標比約93.8%とほぼ目標を達成している。要因としては、利用者アンケート等の意見や様々なアイデアを活用し、収入増加に向け様々な新たな取組（フリー開放（球技）、個人フットサルなど）が行われたことなどがあげられる。 ＜実績＞利用料金収入 目標値28,457,000円→実績26,701,830円、施設稼働率:大体育室 目標値95%→実績98.5%、小体育室 目標値91%→実績97.9%、研修室1 目標値67%→実績72.4%、研修室2 目標値55%→実績60.4% 【適切な金銭管理・会計手続】 ①売上及び釣銭等現金の確認については、必ず2名以上で行うなど、確実に実施している。					
	サービス向上及び業務改善	利用料金収入 目標値	提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	6	3 (×0.6)	3.6
			サービスの利用促進への具体的な取組が為されているか			
利用者への情報提供を適時かつ十分に行っているか						
適切なサービスの提供(トレーニング室を含む個人開放事業)		提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	6	3 (×0.6)	3.6	
		サービスの利用促進への具体的な取組が為されているか				
		利用者への情報提供を適時かつ十分に行っているか				
適切なサービスの提供(教室事業)		提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	6	3 (×0.6)	3.6	
		サービスの利用促進への具体的な取組が為されているか				
		利用者への情報提供を適時かつ十分に行っているか				
適切なサービスの提供(地域との連携、提案事業等)		提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	6	4 (×0.8)	4.8	
		サービスの利用促進への具体的な取組が為されているか				
		利用者への情報提供を適時かつ十分に行っているか				
業務改善によるサービス向上		実施計画と実際のサービス提供に「ずれ」が生じている場合、原因究明に必要な取組が為されているか	8	3 (×0.6)	4.8	
		業務改善が必要な場合に、現状分析、課題把握、改善策の検討と実施が行われているか				
		業務改善の取組によって具体的な効果があらわれたか				
利用者の意見・要望への対応		利用者ニーズの把握に努め、それを事業や管理に反映させる取組が為されているか	8	4 (×0.8)	6.4	
		意見・要望の収集方法は適切だったか(十分な意見・要望を集めることができたか)				
		利用者からの苦情や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか				
【評価の理由】 【利用料金収入 目標値】 ①利用料金収入の確保に向け、球技系の種目を中心に誰でも参加できる「フリー開放」や、フットサルの個人利用の「個サル」、土日にキャンセルした時間帯を活用した宮スポ球技大会など、積極的に収入確保に向けた取組みを行った。各種工事により駐車場や諸室の利用が制限される中、目標比約93.8%とほぼ目標を達成している。 利用料金収入 目標値28,457,000円→実績実績26,701,830円 【適切なサービスの提供(トレーニング室を含む個人開放事業)】 ①トレーニング室の利用者向けに、1回につき1ポイント付与(雨の日・雪の日の来館時は1ポイント付与)、また、(駐車スペースが限られる中)電車・バスで来場すると1ポイント付与するサービスを引き続き行うなど、新規利用者の取込及び継続利用の促進に努めた。※30ポイントが貯まると1回無料 ②ネコの目システムの活用による混雑状況の配信を引き続き行うなど、利用者の利便性向上に繋げた。 ③区内のスポーツセンターで唯一設置されているボルダリングを常時開放し、館独自でチラシを作成し利用者増に向けた取組を引き続き行うなど、普及・振興に繋げた。 【適切なサービスの提供(教室事業)】 ①メールでの申し込みや、Instagramを活用した広報を引き続き行うなど、利用者の利便性の向上及び利用促進に向けた取組を行った。 ②気軽な運動参加と施設の有効活用を図るため、当日参加型のショートタイムを引き続き実施した。 ③スポーツ教室に新メニューを加えるなど、利用者ニーズの即した取組を行った。 【適切なサービスの提供(地域との連携、提案事業等)】 ①大蔵小学校で活動している寺子屋「いぬくらっ子」と共催で「寺子屋スポーツデー」を開催するほか、南菅生自治会と協働による防犯夜間パトロール、市内中学校の職場体験、大蔵小学校の生活科町探検の受入れなどを行った。 【業務改善によるサービス向上】 ①毎週の定期訪問、毎月の定例会等を通じて課題を共有し、改善に向け取組を行った。 【利用者の意見・要望への対応】 ①利用者アンケート、教室参加者アンケート、利用者懇談会など様々な方法で利用者の意見を聴取し、それらの意見に迅速かつ真摯に対応することで、大きなトラブルもなく、円滑な利用に繋げた。 ②令和6年10月から令和7年7月にかけて実施した屋根の改修工事に伴い、様々な事象(粉塵の飛散、漏水、臭気など)が発生したものの、常に利用者の目線に立ち、迅速かつ真摯に対応することで、長期間にわたる工事の中でも、大きなトラブルもなく、適切に運営することができた。また、令和7年9月から令和8年2月にかけて実施した冷暖房設備改修工事に伴い、研修室やトレーニングルームの利用が制限されたが、大きなトラブルもなく、適切に運営することができた。 ＜実績＞年間苦情件数 目標値10件以内(うち利用受付・収受に関するもの0件)→5件						

組織管理体制	適正な人員配置	必要な人員(人数・有資格者等)が必要な場所に適切に配置されているか	8	3 (×0.6)	4.8	
	連絡・連携体制	定期または随時の会議等によって所管課との連絡・連携が十分に図られているか				
	再委託管理	再委託先との連携調整が適宜・適切に行われ、業務の履行についても適切な監視・確認が為されているか				
	担当者のスキルアップ	業務知識や安全管理、法令遵守に関する研修が定期的に行われ、スタッフのスキルとして浸透しているか				
	安全・安心への取組	事件・事故、犯罪、災害から利用者を守ることができる適切な安全管理体制となっているか(人員配置、マニュアル、訓練等) 緊急時に警察や消防など関係機関と速やかに連携が図れるよう、連絡体制を構築し、定期的に情報交換等を行っているか	8	3 (×0.6)	4.8	
	コンプライアンス	個人情報保護、その他の法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか	4	3 (×0.6)	2.4	
	職員の労働条件・労働環境	スタッフが業務を適正に実施するための、適切な労働条件や労働環境が整備されているか				
	環境負荷の軽減	環境に配慮した調達や業務実施が行われているか				
	【評価の理由】 【連絡・連携体制】 ①所管課への連絡や事故・トラブルなどの報告文書の提出は適切に行うことができた。 【担当者のスキルアップ】 ①各種資格の取得・更新のための研修を受講するなど取組がなされた。 【安全・安心への取組】 ①防災訓練等の実施や危機管理マニュアル等を整備を通じて、非常時への対応に備えた。 【コンプライアンス】 ①コンプライアンス研修を実施し、法令を遵守し公正かつ誠実な事業運営に取り組んだ。 【環境負荷の軽減】 ①ペットボトルキャップ回収によるワクチン寄付やコンポスターを設置し生ゴミ等を肥料して活用した。 ②館内の事務室と受付前のスペースをLEDに変更し、光熱水費の削減に努めた。					
	適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	6	3 (×0.6)	3.6
管理記録の整備・保管		業務日誌・点検記録・修繕履歴等が適切に整備・保管されているか。				
清掃業務		施設内及び外構の清掃が適切に行われ、清潔な美観と快適に利用できる環境を維持しているか				
警備業務		施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故・犯罪等の未然防止に役立っているか	6	3 (×0.6)	3.6	
外構・植栽管理		外構の植栽を適切に管理(草刈、剪定、害虫駆除等)しているか				
備品管理		設備・備品の整備や整頓、利用者が使用する消耗品等の補充が適切に行われているか				
【評価の理由】 【施設・設備の保守管理】 ①毎月の設備巡回点検や日々の巡回等を通じて修繕箇所を把握し、簡易な応急処置は当日に対応、その他不具合項目は館内で共有し、保守業者と連携のうえ、館の運営には支障は出なかった。また、修繕については中長期修繕計画を活用しながら優先順位をつけて行った。 【清掃業務】 ①更衣室・トイレについて、午前中は清掃スタッフによる開館前・開館後の集中清掃を実施、午後は運営スタッフによる巡回を行い、快適な環境づくりを行った。 【外構・植栽管理】 ①植栽管理専門会社による定期作業に加え、職員による日常的な作業を行うことにより、美観維持を図った。 【備品管理】 ①備品管理においては台帳を整備し、備品の所在が確認できるなど、適正な備品管理を行った。						

4. その他加点

分類	項目	着眼点			評価点
その他加点	市の政策課題への取組	川崎市スポーツ推進計画やかかわさきパラムーブメント推進ビジョンに基づく取組の推進、及び地域包括ケアシステムの構築に向けた健康づくりへの取組の推進			3.0
	【評価の理由】 【市の政策課題への取組】 ①毎週金曜日にバラスポーツデーとして、ポッチャ体験を開催した(年:454名参加)。また、大蔵中の生徒を対象としたポッチャ体験を実施した。 ②区民祭にてウォーキングサッカーのコーナーを担当した。 ③5月のバラスポーツ体験会ではポッチャを、10月のスポーツの日記念事業においてウォーキングサッカーを行った。 ④パラ体操を実施し、障がいをお持ちのお子さんが気軽に参加できる場所の確保に繋がった。				

5. 総合評価

評価点合計	65.8	評価ランク	C
-------	------	-------	---

※評価ランクの適用基準

評価ランク	適用基準（評価点合計）
A	総合評価の結果、特に優れていると認められる。（80点以上）
B	総合評価の結果、優れていると認められる。（70点以上80点未満）
C	総合評価の結果、適正であると認められる。（60点以上70点未満） ※標準点
D	総合評価の結果、改善が必要であると認められる。（50点以上60点未満）
E	総合評価の結果、問題があり適切な措置を講じる必要がある。（50点未満）

6. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

- ①新型コロナウイルス感染症拡大前の利用者数に届いてはいないものの、年度の目標としてはほぼ達成している。
- ②本市のスポーツチーム等の紹介を実施するなど公共施設としてのスポーツの普及を行うほか、小学生の生活科町探検、中学生の職場体験の受入れ、近隣自治会との防犯パトロールなどスポーツ分野以外にも地域と連携した取組を行い、地域活動に貢献している。
- ③利用者アンケート等を積極的に活用し、空き時間の諸室利用をするため、様々な取組(球技系の種目を中心にどなたでも参加できる「フリー開放」、フットサルの個人利用「個サル」、短時間の諸室の団体貸しなど)を行い利用者目線に立った改善を行うほか、収入確保にも繋げた。
- ④様々なイベントやアイデアを活用し、バラスポーツの普及・振興に繋げた。
- ⑤近隣の犬蔵小学校で活動している寺子屋「いぬくらっ子」と共催で「寺子屋スポーツデー」を開催したほか、犬蔵中学校等と連携を図り、バラスポーツに触れる機会を提供した。
- ⑥館内の一部スペースをLEDに変更し、電気料金の縮減及び環境負荷の軽減に繋げた。

7. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等